

保育経営懇ニュース

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F
Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

2025年9・10月合併号
No.260

2025年10月3日発行
(一社)全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇役員リレーエッセイ

東海北陸ブロック経営懇がおもしろい！！

小西文代（愛知・(福)新瑞福祉会）

東海北陸地域の経営懇の会員園が ZOOM で集まって、毎年 7 月に交流会、12 月に学習会を行っています。今年度の 7 月の交流会は、「職員確保・育成と集団作り・次世代につなげるために」をテーマに、63 名が参加。愛知と岐阜と福井の先生に、それぞれの状況と取り組みを報告していただきました。

その中で、会員外で報告いただいた岐阜県の高山市にある保育園は、無認可で 3 名の園児からスタートし、2013 年に認可されました。0 歳～5 歳児まで 75 名定員で、正規職員 25 名（フルタイム正職 23 名と短時間正職 2 名）で、正職比率が高い！！職員確保が困難化するなか、離職を防ぎ働き続けてもらうために、短時間正職制度（子育て中・勤務時間 6～8 時間・早番遅番免除・夜間土曜一部免除・月給歩合制・手当をカット）をつくったそうです。

子育て中の職員にとって、早番遅番免除・夜間土曜一部免除は、とてもありがたい制度。さらに、正職比率が高いので、それを支える職員集団も層が厚いんですね。少くとも給与が安くても？働きやすい条件があることが大事なのでしょう。

全国共通の職員確保問題。働き方改革で、育児介護休業等の制度は良くなっていくのに、父母の就労と地域の子育てを支える保育園は、長時間で、土日祝も、年度途中の入所にも応え、一時保育に、誰でも通園制度、さらに、子育て困難家庭の増加、障害児・医療的ケア児の保育……。求められることはどんどん増えているのに、追いつかない保育条件や職員処遇の改善。福井の先生は、「担任業務はできない」「短時間勤務がいい」等の理由で、非正規に変わっていく職員が多く、正職が少ないと嘆いてみえました。

高山の先生は、合研の「民間保育園の経営と運営」の分科会にも参加してみえて、「高山市では公立 3 園の内 2 園が民間移譲される。手が上がらなければ廃園になる。職員は『1 園だけでも大変なのに』と及び腰。職員合意をどう作るか。チャンスは今しかないと思っている」と発言され、会場からは「25 名の正規職員の存在は勇気が出る」「やらないで後悔するより苦労しても挑戦した方が良い」と、励ましのエールが送られていました。

職員がやめないことって、財産ですよ。法人・園で参加しているあいち保育共同連合会（あい共連）も「働き続けられる職場づくり」を、12 月の合宿のテーマにしようと準備しています。

東海北陸ブロック経営懇の繋がりは、今の困りごとが率直に語られ、同じ悩みに共感し、それぞれの取り組みにヒントをもらって、明日への課題が見つかり、お互いの運動に力をもらう、そんな集まりになっています。少子化で定員割れ、病休者が多い、離職率が高い、採用試験に応募者がいない、老朽改築に資金が無い、各法人の悩みは、全国共通です。各地域で繋がりがあって情報交換し、それぞれの実践から学び合い、配置基準改善や職員処遇の改善の要求運動も励まし合っていて、みんなで明るい未来が展望できるといいですね。

保育をめぐる情勢・国の動き

●待機児童数、微減 2,254 人 共働き世帯率は増加—保育所等関連状況取りまとめ

こども家庭庁は、「保育所等関連状況取りまとめ（令和 7 年 4 月 1 日）」を公表しました。25 年 4 月 1 日時点での待機児童数など保育所等の状況を取りまとめたものです。保育所等の利用児童数は 268 万人で、昨年より減少しています。待機児童数も前年比 313 人減の、2,254 人となっています。

しかし、いわゆる隠れ待機児童は 8 万人を超えています。特定の保育所を希望する場合や育

児休業の延長で対応する場合など、保育を必要としながら入所できていないケースがまだまだ多くあります。

全国どこでも必要な保育を保障できる？

子育て世代の女性の就業率は昨年より増加し 81.9%、共働き世帯の割合も 8 割近くと増加し、フルタイムの割合も年々増加しています。良質の保育施設を増やすことが依然として課題である地域があります。一方で、人口減少で施設の存続が難しいような地域もあります。それぞれの地域の課題に応じて、きめ細かい対応が求められています。

●26 年度概算要求、こども家庭庁 7.4 兆円—保育分野の改善は!?

26 年度予算編成に向けて、各省庁の概算要求が 8 月末に出されました。総額は、過去最高の 122 兆円台となりました。

こども家庭庁の概算要求額は 25 年度予算に比べ、959 億円増の 7.4 兆円となりました。

保育分野では、こども誰でも通園制度が 26 年度から本格実施となり、新たに「給付」として全国で実施されます。この給付が概算要求にどう盛り込まれているか見てみると、予算編成過程で検討するとして、額を示さない「事項要求」になっています。また、保育士等のさらなる処遇改善を検討する、と示されましたが、具体策は出されていません。

保育の質向上として新しく示されたのが、「ミドルリーダー」です。しかしその内容は、主任以外にフリーの職員配置を求めるような

公定価格の改善ではなく、研修や公開保育などのために活動するミドルリーダー育成等の費用の一部を支援する事業です。一自治体あたり 500 万円補助で総額 1 億円と、単純計算すれば 20 自治体分にしかならず、規模の小さい事業です。

保育・福祉分野の予算増額を！

概算要求の内容を見る限り、保育分野では大幅な改善がみられません。福祉や教育分野の予算が大きく増えない一方で、防衛関係予算は 23 年度から増え続けています。

今後の予算編成や国会での審議の中で、保育分野の事項要求部分がどうなるのか、保育士等職員のさらなる処遇改善の内容等や 1 歳児の配置基準改定含む配置基準全体の底上げが進むのか等、注目しましょう。そして、国会請願署名や自治体との懇談等、国・自治体への働きかけを強めましょう。

夏季セミナー

9 月 8 日、夏季セミナーを開催しました。会場には約 70 名、全体で 251 名の参加となりました。今回のセミナーは、「教育と保育」・「保育情勢」・「平和」の三つの柱のもと、講演と各地からの報告で構成しました。

教育のいまから保育の明日を考える

教育と保育の柱では、ジャーナリストの小林美希さんに講演いただきました。公立小学校では、不登校が増加する中で中学受験が過熱し、受験塾や高い学費に追われるというケースも少なくありません。そうした背景には、保護者

の世代の状況や、教育政策の問題があることも指摘されました。

小林さんの講演を受けて、保育研究所の浜田さんから、関連する動きとして、保育所等で「習い事」を付加的保育サービスとして推進するよう国の規制改革推進会議が答申をだしていることが報告されました。

また、静岡県浜松市・大阪市・堺市での動きが報告されました。浜松市では、子どもの集団生活の様子をみて、なじみにくさや困りに早くから気づき、よりよい支援を行うとして、5 歳児健診モデル事業を 10 園ではじめています。

医師や保健師、教育委員会、保育園園長会、幼稚園協会などが集まってワーキンググループや実務者会議をつくって、検診実施について検討しています。その中に参加し、子どもの人権や発達の観点からここはおかしい・変じゃないかという点があれば意見を出したり、そうした動き等を発信していきたいという報告でした。

大阪市の会員園では、卒園児の状況として、学校に行こうとすると体調が悪くなるといったケースや、保護者が働き方を変えて対応している例もある、と言います。また、学童保育やフリースクールなど、子どもの居場所づくりを工夫している、とのこと。安心して過ごせる環境を地域につくるうえで、保育所の役割は重要、と話されました。

堺市では、各区で園長会を開催し日常的なつながりを大切にしており、その中で、小学校との接続についても取り組んでいます。園の状況を知ってもらうために、先生が保育園等への見学に来て、あそびや生活の中での子どもたちの様子を見てもらう取り組みを行っています。そこで、乳児保育の大切さなどを伝えていきます。交流を通じて小学校の状況がわかるようになってきて、先生とともに接続問題を考えていく計画もある、とのことでした。

保育をめぐる情勢を学ぶ

まず、保育研究所の**逆井さん**から保育情勢についてお話いただきました。国は、2023年度にこども未来戦略を打ち出し、保育士の配置基準・処遇の改善と、こども誰でも通園制度の創設を提起しました。配置基準は一定改善されましたが、不十分な内容です。1歳児の配置加算も要件で制限し、一部の園しか対象になっていません。さらなる改善を求める必要があります。処遇改善の今後の方向性も不透明です。誰でも通園制度は、26年度から給付となり全自治体で実施予定ですが、自治体によって、かなり状況に差がありそうです。基準の引き上げや運営費の増額、自治体関与の強化など、求めていく必要があります。

こうした状況に対し、現場から改善を求める声をあげていこう！と、国会請願署名に積極的にとりくむことも呼びかけられました。

あわせて「経営懇のみなさんには、公定価格に保育所の運営費関わる費用が積算されているのかや、現在の公定価格が保育所運営にどう

影響しているのかなど、公定価格を研究・分析して、公定価格改善の動きをリードしてほしい」と、経営懇への期待を語る場面もありました。

情勢報告を受けて、2つの地域から地域の活動が報告されました。

埼玉県熊谷市からは、保護者とともに自治体への働きかけを重ね、保育料無償化を自治体の独自施策として実現された運動が報告されました。

福岡市からは、人口減少により子どもを取り巻く環境が大きく変化し、その中で自治体の子育て支援策が工夫されているが、子どもの奪い合いといった現状があると言います。その中で、今後の保育のあり方を考えることが必要、との報告でした。

戦後 80 年・平和を願って

最後に、平和の課題として、**北海道・（福）多度志保育会・殿平善彦さん**から、「東アジアに民衆の和解を育てる試みー北海道朱鞠内で強制労働犠牲者の遺骨を発掘する」をテーマに、お話いただきました。

殿平さんは、社会福祉法人の理事長を務めながら、NPO 法人東アジア市民ネットワークの代表理事としても活動されています。講演では、明治の初めから日本が軍国主義・植民地主義の道を行ってきたこと、自分が暮らす北海道で戦時中のダム工事等に 3,000 人以上の朝鮮人が強制的に動員され 200 人以上が命を落としたこと、犠牲者の遺骨発掘と遺族への遺骨返還に取りくんできたこと、等が話されました。

アンケートより・・・

* 小学校の現状に驚いた。公立校の実情は保育に携わる者として見過ごせない。講師は、私学の実践に希望を見いだしていたが、憲法の観点からも、だれもが豊かな教育を受けられるよう、公立校の改善が必要であると考え。（神奈川・理事長）

* 各地で、工夫して教育とのつながりを作ろうとしていることに半端ない努力と熱意を感じました。（東京・園長）

* 卒園児が学校への行き渋りが多く、胸を痛めている。国の施策の不十分さはもちろんですが、学校と保育園が理解し合い、協力し合えることも取り組んでいきたい（京都・理事長）

* 以前に比べ、署名に消極的な保護者も増え（職員も）、改めて今、子どもの権利や自分たちの処遇を守っていくために私たちに与えられた手段

である事を伝えていかなければと思いました。
(大阪・園長)

*埼玉のお話では、保護者と運動を作っていくことの大切さを感じました。保護者の力って凄いなとパワーもらえました。(愛知県・保育士)

*自分が暮らす国のことなのに、知らない事実がたくさんあることが情けないと感じました。「帝

国主義と植民地主義」により、これほど多くの人の命が軽く扱われ多くの死を招いていた事実を「読む」のではなく直接「聞く」ことにより、遠い昔の話ではなく今も続いている事実なのだと感じながらお話を聞きました。まずは知ることが大切(愛知・園長)

おしらせ

●主任セミナー締切迫る！！

第21回主任セミナーを、11月13～14日に神奈川県湯河原温泉にて開催します。温泉で疲れをいやしつつ、学びと交流を深めましょう。
日時：2025年11月13日(木)13時開会～

14日(金)15時30分終了

会場：ニューウェルシティ湯河原(温泉旅館)
JR湯河原駅より無料シャトルバス10分

【申込み締切】10月21日(火)

【申込みの手順】

- 1 参加費・宿泊費等の合計金額を入金する
- 2 「第21回主任セミナー参加申込書」に記入し、FAXで送信

●国会請願署名に取りくもう

2025年度の国会請願署名運動が始まっています。法人・園で、各地域でとりくみをおねがいします。

*署名用紙

同封の用紙をコピーして使うこともできます。取り寄せる場合は、1枚4円。

全国保育団体連絡会(03-6265-3171)まで

*11月に保育大行動

新宿で保育パレード(1/16)、国会議員要請行動(11/17)が予定されています。国会要請では、全国国会議員713名を訪問しますので、ひとりでも多くの方の参加をと、呼びかけがきています。

同封資料

- 主任セミナーご案内
- 2026.1 民間保育園経営研究セミナー 分科会提案募集
- 2025年度国会請願署名&パレード・集会のチラシ
- 第3回全国福祉経営研究交流会 in九州・沖縄ご案内
- 保育プラザを支える会企画

【経営懇話会活動日誌・8～9月】

- 8月2～4日(月)57回合研集会 in 群馬
「民間保育園の運営と経営」分科会を運営。自主交流会「園長交流会」開催。
- 8月9日(土)合研オンライン分科会
- 8月18日(月)事務局うちあわせ
- 8月26日(火)主任セミナー実行委員会第2回
- 8月29日(金)夏季セミナー要綱等を参加者に発送。
- 9月6日(土)全保連常幹・合研常任合同会議
- 9月7日(日)三役会議・顧問会議
- 9月8日(月)夏季セミナー(KFCビル)
- 9月29日(月)第2回理事会

●経営研究セミナー分科会 提案レポート大募集

日程 2026年1月12日～14日(月・祝～水)

会場 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ

*分科会の提案、募集中！

・分科会是对面のみ(録画・配信なし)。会場で顔を合わせて、日々の悩みや苦勞、楽しさを語り合いませんか？

・園・法人での取り組みや課題をお話しいただく「提案」を募集しています。詳細は資料参照。

保育プラザを支える会 ●連続企画
平和と子どもを語るつどい

11月8日(土)14:00～16:00

会場：保育プラザ2階研修室

お話&歌 二本松はじめさん

(つながりあそび・うた研究所所長)

*参加費無料

*Zoom有/録画配信有